

平成30年度 学校版環境ISOへの取組 概要報告

管内	市町村	学校名
球磨	人吉市	人吉市立第一中学校

1 取組の概要

項目	活動の様子(写真)	取組の実際
宣言		<p>【生徒】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 廃油、アルミ缶を1年間集めます。(ボランティア委員) ② ペットボトルのキャップを1年間集めます。(ボランティア委員) ③ 清掃時はバケツを使います。(各学級) ④ 教室を使わない時は照明やエアコンのスイッチを切ります。(各学級) ⑤ 学校の花壇を整備し、花を増やします。(エコスクールライフ委員) <p>【教職員】</p> <ol style="list-style-type: none"> ❶ 両面の印刷及び反古(ほご)紙の裏面利用を進め、紙の消費を抑えます。 ❷ ゴミの分別、リサイクル、リユースに努めます。 ❸ 冷暖房機器の使用について担当を決め、節約を促進します。
行動	 <p>写真1</p>  <p>写真2</p>  <p>写真3</p>	<p>廃油やペットボトルキャップなどの回収</p> <p>ボランティア委員によるリサイクルデーの取組(廃油・空き缶、ペットボトルキャップの回収活動)を朝から行った。また、放送委員が朝の全校放送で呼びかけも行っている。(写真1) ペットボトルキャップについては、クラスマッチを行い、回収に対する意識を高めるようにした。</p> <p>節水</p> <p>給食後の歯磨き時のコップ使用や清掃時のバケツ使用(写真2)については、全校に定着してきている。清掃時に使ったバケツの水は、花壇に散布し再利用することができた。</p> <p>節電</p> <p>日直や教科係の仕事として、移動教室時の教室の消灯に努め、係が忘れても気づいた生徒が消す習慣が定着するようにと消灯を呼びかける掲示物を各教室に貼っている。また、グリーンカーテン(写真3)の設置により、夏場の教室内の環境改善や冷房の使用量抑制を図ったり、晴天時の職員室・事務室の電灯使用を半分にしたりしている。</p> <p>残食ゼロ</p> <p>給食の配膳方法については、給食委員や各学級担任を中心に、配膳の時に残らないように注ぎ分けたり、おかわりの声かけをしたり、残食が出ないように努めている。</p>



写真4



写真5

紙のリサイクル

印刷室では、種類/サイズ/未使用/再利用などによって、紙の置き場所を分け、無駄のない紙の使用や裏紙の再利用を推進している。職員配布用の書類に反古紙を使ったり、両面済みの紙はサイズ別に回収したりしてリサイクルに出している。(写真4)

ゴミの分別・リサイクル

空き缶などの資源ゴミは分別回収箱(写真5)で回収し、無駄なゴミを出さないように呼びかけている。

花壇の整備

エコスクールライフ委員会を中心に除草作業に取り組んだ。また、掃除中にも花壇担当の生徒たちで、除草作業を行う花壇をきれいな状態に保つようにした。

記録



写真6

廃油やペットボトルなどの回収

○クラスマッチの順位を発表することで、各クラスのキャップ回収への意識も高まっていった。(写真6)

△夏場は回収量が多いが、それ以降は徐々に減っている。

時期的なものもあるかもしれないが、意識が低下しないよう、協力への呼びかけを強化していきたい。

△協力者に偏りがある。学級の中で協力者が増えるように、学級通信での発信やクラス内での呼びかけが必要である。

節水

○歯磨き時のコップ使用や清掃時のバケツ使用が定着してきている。

○数値目標である3%減を達成し、17.9%減少させることができた。

※4月に使用料が多いのは、プールの給水を行ったためである。

【月別水道使用量 (m³)】

	4月	5月	～	9月	計	昨年度	前年度比
使用量	643	351	～	356	2908	3543	-635

(17.9%減)

節電

○生徒たちの意識が高まるにつれて、月を追うごとに減少している。

○数値目標である3%減を達成し、5%減少させることができた。

△4月は昨年度よりも使用料が多かった。

【電気使用量 (kWh)】 ※太陽光充電分を引いた量

	4月	～	9月	計	昨年度	前年度比
使用量	12999	～	14708	95280	99949	-0.05

(5%減)

残食ゼロ

○4月当初からほとんどの学級での食べ残しはなく、全体的に好ましい状況である。給食委員の呼びかけや、各学級担任の給食指導の結果、全校での「残食ゼロ」は9割以上達成できている。今後も給食委員による啓発活動や担任による給食指導を引き続き行っていくことで、今後も残食量ゼロを維持できるようにしたい。

紙のリサイクル

○印刷用紙使用の削減については、職員の意識が高まってきた。職員の意識次第では更なる削減ができると考えられる。今後も積極的に呼びかけを行っていきたい。

○B5については購入量（使用量）が増加したが、A4やA3、B4については削減することができ、全体としては紙の消費量を抑えることができた。

【紙類購入量（枚）】

	4月	5月		9月	計	昨年度	昨年度比
A4	146	64	～	106	652	708	-56
A3	9	0	～	0	33	42	-9
B5	15	10	～	0	60	45	+15
B4	10	0	～	42	124	150	-26

ゴミの分別・リサイクル

○ごみの分別については、定着してきている。同時にリサイクルに出す資源ごみの量は増加してきている。「もったいない」の意識を学校全体でさらに高めていくために、資源ゴミがどのように活用されるのか、啓発活動についても今後力を入れていきたい。

花壇の整備

○除草作業は、生徒により定期的に行うことができ、花壇をきれいな状態に保つことができた。

△花植えは、用務員の先生にさせていただくことが多く、生徒の活動を取り入れることができなかった。来年度は、用務員との連携を図り、計画的に花植えの活動を行っていきたい。

見直し	<p style="text-align: center;">重点的に見直しが必要な事項</p> <p>①廃油やペットボトルキャップなどの回収</p> <p>②紙のリサイクル</p> <p>③花壇の整備</p>	<p>①廃油やペットボトルなどの回収については、ボランティア委員会の活動として、昼の放送の呼びかけや、ポスター掲示、各学級での啓発活動などの取組を強化していけるようにしたい。また、単に回収するだけでなく、どのようなことにつながっていくのか、何に役立つのかといったところも、しっかりと押さえるようにしていきたい。</p> <p>②紙のリサイクルについては、職員会議や朝の連絡票などを用いて、定期的に使用状況などについて、発信していきたい。また、吹奏楽部など、生徒がコピー機を使用することもあるため、その使い方をしっかりと確認させ、印刷ミスがないように努めたい。</p> <p>③エコスクールライフ委員の年間計画の見直しが必要である。3学期に今年度の反省を行うため、3学期中に来年度の計画を立て、生徒たち自身が、学校の環境をよりよくできるような活動を行いたい。また、用務員とも協力し、十分な打ち合わせを行う必要がある。</p>
-----	---	---

2 成果と課題

成果	課題
<p>○ペットボトル等の回収については、一部の生徒に偏りがみられるものの、協力を得ることができた。</p> <p>○節水・節電については、数値目標を達成することができた。節水については、大きく目標を上回るすることができた。生徒たちの取組への意識が高まっていると考えられる。今後も、取組を継続し、資源を大切にできるような意識を高めたい。</p> <p>○印刷用紙使用量の削減では、全体的に削減させることができた。</p>	<p>△ペットボトル等の回収では、協力者に偏りがみられた。活動がマンネリ化しないよう、継続的な取組に加え、新しい取組や呼びかけの方法を工夫する必要がある。</p> <p>△紙の使用量削減では、一部のサイズの用紙で削減ができなかったものがあつたが、全体量としては削減できた。職員へ使用状況を定期的に伝え、削減への意識を高めていきたい。また、裏紙も利用しているが、どのような印刷物の時に裏紙を利用するのか、再検討していきたい。</p> <p>△花壇に花が植えられている時と、そうでない時期の差が見られた。年間を通して、花や緑で充実した学校づくりを目指したい。そのためには、年間を見通した栽培計画を立てる必要がある。</p>